

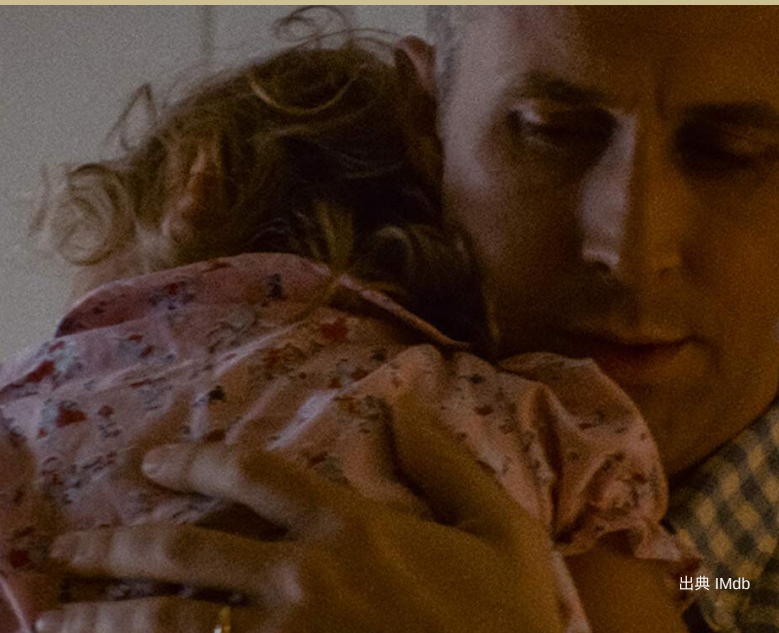
「ファーストマン」 月を墓に見た男

「ひとりの人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍だ」

月面着陸成功からちょうど50年後に公開された「ファーストマン」は、宇宙飛行士ニール・アームストロングと家族の物語が描かれています。世界の覇者を狙うアメリカケネディ大統領は、有人月面着陸成功のため「アポロ計画」を実施。その命がけの挑戦の裏には、家族との葛藤がありました。病弱だった娘を幼いときに亡くし、



出典 IMDb



出典 IMDb

喪失感を抱えたままのアームストロング夫妻。有人飛行というさらなる命の危険に向き合いながら、新しい時代をつかむためのミッションに挑みます。

アームストロングが月に降り立ってから、空白の10分間があったといわれています。映画ではそのとき娘の形見を月に置いてきたと描かれています。真相を知っているのは月だけ。人類が夢見た月は、映画では彼の娘の墓であるかのように描かれていました。

ひとりの男がその地に踏み出した一歩は、たったひとりの娘と再会するための一歩だったのかもしれませんが。

ひと息ブレイク 編集後記

まもりびとjournalをつくりながら、今年の、そして自分自身のキーワードを見つけました。「スポーツ」「継続力」です。スポーツについては、6年生の息子がスポ少でちょうど引退を迎えたこともあり、スポーツが見せる人間ドラマや感動をあらためて実感した一年でした。うちはチームスポーツですが、個人競技も同じく、スポーツほど多くの人が舞台をつくり、盛り上げるために尽力しているものはないことを、大河ドラマ「いだてん」からも再発見しました。そういう意味でも「いだてん」は偉大なドラマだったと思います。

「継続力」の大切さについては言うまでもありませんが、やり続けることのむずかしさと、それでもやり続けたいという意志との戦いが「継続力」の有無になるのではないのでしょうか。特集した大谷米太郎氏も、遅咲きの花を咲かせるまでには、たくさんの不本意な障害にあいました。タネ銭をつくる苦労、そしてその後の成功を永続させるための寄付。

お金の力を侮らなかった人だからこそ、その力でできることを継続し、その行為が子孫たちに受け継がれているように感じます。

継続力を生むモチベーションは周囲への「感謝」です。そして「スポーツ」も多くの人に「感謝」の心を育むものであります。わたしたちは何を受け継ぎ、何を繋いでいけるのか。感謝の心をつないでいきたいですね。

「おはかの手帖」 発売のお知らせ

読んで、綴って、つたえる。



おはかの手帖とは？

2019年のニュースといえば「おはかの手帖」を発売したことにつきます。

お墓という「もの」をとおして体験している「こと」とはなんだろう。

そんな問いから生まれたのが「おはかの手帖」です。

お墓を持っている人も持っていない人も同様に、わたしたちは「時間」を生きています。

お墓はその時間の尊さ、与えてくれる感動、失う切なさを存分に味わわせてくれます。

時間を生きる人間が紡ぐ物語を見つめるお墓。

あなたの物語、家族との何気ない日常を残せる「おはかの手帖」。

内容：『墓ありじいさん墓なしじいさん』収録

「お墓まいり記」「Thanks Messages」「お墓Q&A」「ファミリーマップ」など

“

おはかの手帖

read, write
and pass



おはかの手帖 プレゼント!!

「おはかの手帖」のPRムービーをつくるため、お墓にまつわるあなたと家族のエピソードを募集中! ご応募くださった方には「おはかの手帖」(1,500円税込)を一冊無料プレゼント!!

【応募方法】

メール、FAX、手紙、スナダ石材SNS宛てにご応募ください。ご住所、氏名、年齢、連絡先必須。